



# DMI 国際ろう者支援会 日本

## 2013 年 秋号

DMI の友人と支援者のみなさまへ

ネヴィル・ミューア師 (DMI エグゼクティブ・ディレクター) からの報告とお願いをお届けします。アフリカと中国の働きについて書かれています。関心をもってお読みいただけることと思います。さまざまなお場所に支援の必要があると書かれていますが、アフリカの兄弟姉妹を助けたために手を挙げてくださる方が、ここ日本でも起こされることを主にあって願っています。チャイルド&スクール・スポンサーシップとは別に、DMI のために支援献金をして下さる方がおられますが、その献金は一般献金として受け取らせていただき、必要のある場所に用いさせていただきますために本部に送金します。先日は、比較的大きな金額を贈ることができましたが、その後、本部の会計主任から以下のようなメールが届きました。

日本からの送金を知らせるメールは、祈りの答えでした。最近の DMI の経済状況は良くありません。実は非常に悪いのです。先月は各国の DMI に月額で約束している金額の 45 パーセントしか送ることができませんでした。

今月もお金が足りなくてどうしようと考えると、昨晩は眠れ

ませんでした。ベットに横になっても寝つけず、どうか必要を満たしてくださいと神に祈っていました。午前 1 時半ごろ、時間を見ようと携帯に手を伸ばしたところ、あなたからのメールが来ていたのです。

この送金ですべての必要を満たされたわけではありません。今月も赤字をどうするのか大変な状況になるでしょう。しかし、このタイミングでメールを受け取ったことで、神がすべてをご支配なさり、御心のときに与えてくださると、再度、信じることができました。

DMI の働きを忠実に支援して下さるみなさまに感謝します。その支援によって、ろう者は、地上では教育を与えられ、また何より永遠の希望を見出すことができます。

さて、銀行の自動振替で毎月の献金ができませんかと数名のサポーターから尋ねられていましたが、やっと準備が整いました。詳細は欄外をご覧ください。ご質問のある方は、お電話をいただければお答します。電話番号は、090-1028-8844 または、075-871-8562 です。手続きは非常に簡単です。

ご自分の銀行口座から DMI の献金口座に毎月、自動振替で送金することが可能です。

- ゆうちょ銀行の口座から：  
14330-10176511 口座名 DMI
- 他の銀行の口座から：  
ゆうちょ銀行、438 支店  
口座番号 1017651  
口座名 DMI

自動振替をなさらない方は、送金手数料が安価ですので、従来どおり振替口座へ送金をお勧めいたします。

最後に、支援をなさっている生徒にクリスマスカードを送りたい方は、どうぞこちらに送ってください。子供の名前と国名も必ず封筒のどこかに書いてください。11 月中旬までに送って下さると、クリスマスまでに届けることができます。

〒 616-8228 京都市右京区  
常盤下田町 20-615  
マドレ アレイン行

みなさんが世界中の DMI の働きに関わってくださっていることを心から感謝いたします。

日本 DMI 理事会を代表して

*Alayne Madory*

アレイン・マドレ

 **Deaf Ministries International**  
DMI 日本部

Web: <http://japan.deafmin.org>  
Email: [info@japan.deafmin.org](mailto:info@japan.deafmin.org)

郵便と電話は、大阪インターナショナルチャーチ：  
〒 540-0004 中央区玉造 2-26-47-407  
Tel/Fax: 06-6768-4385

DMI 国際本部 (オーストラリア)

Web: <http://deafmin.org>  
Email: [muir@deafmin.org](mailto:muir@deafmin.org)

P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807  
Australia

Tel: +61-3-5940-5430  
Fax: +61-3-5940-5432

## DMI 国際ニュースレター、2013 年 9 月号

親愛なる DMI 支援者のみなさまへ

今回は良いことも悪いことも含めてたくさんのニュースがあります。まず、良いニュースをお伝えして、ともに神に感謝しましょう。また、悪いニュースについても、ともにしっかりと受け止めましょう。私はアフリカと中国の働きを指導するために 7 週間の旅をして大変疲れていますが、心励まされることも多々ありました。

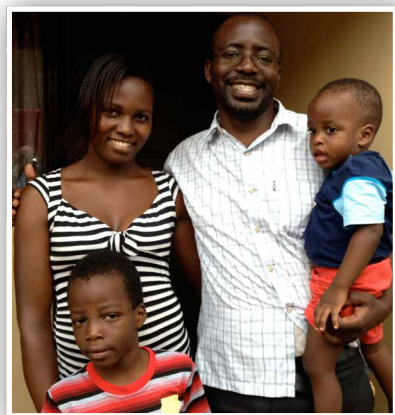
### ウガンダ

DMI ウガンダのディレクターにサムエル・ベグミサを任命しました。サムエル(サム)は、妻モリーンとの間に三人の子ども(ジェシカ、イテロ、ヨルダン)があります。ジェシカは小学校に入学したところです。サムと知り合って随分になります。彼がまだ少年の頃、ケニア

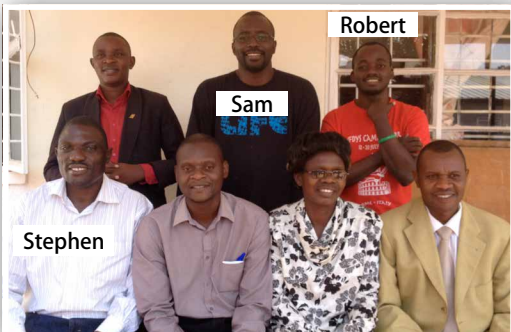
で会いました。彼の父はケニアのろう者団体のリーダーで、ウガンダ人の母はDMIの教会のメンバーでした。

彼女は DMI ケニアで長年会計の奉仕をしていて、DMI ウガンダの設立時に重要な働きをしました。サムはろう者ではありませんが、ろう者の両親に育てられました。手話で自由に会話ができますし、ろう者の文化や社会をよく理解するこの世界の一員です。信仰深くすばらしい霊性を備えていて、ウガンダ DMI の状況をよく理解し、人間関係のスキルにたけ、問題解決能力の高い人です。また、DMI の働きに熱い思いで取り組んでいます。

私はサムがディレクターを引き受けてくれてほっとしています。ウガンダ DMI が、ディレクターにふさわしい人を探している間、私が代理のディレクターでしたが、現地に留まることはできません。実際は、経理責任者兼スポンサーシッププログラム係のステファン・カスンバが、がんばってくれていました。私たちは、新しいディレクターを任命しただけでなく、新しい理事会を結成しました。そして、諸般の事情からウガンダ DMI からデフ・アクション・ウガンダ (DA ウガンダ) に改名することにしました。



理事長はロバート・セワグーデ、DA ウガンダのユースリーダーです。彼は、非常に若い理事長ですが、前回のニュースレターで紹介したロバートです。DMI のアフリカの働きを引っ張っていくエネルギー溢れる人です。ところでチャレンジは、ディレクターに支払うお金が無いということです。給与、活動費、諸税など、毎月5万円ほどが必要です。サムの支援を担ってくださる教会やグループはありませんか。前向きに考えてくださる方々は、どうぞご連絡ください。



ロバートとトニーがリーダーとなって、ウガンダのバーレという場所ですばらしいユースキャンプが開かれました。ゲストスピーカーは、昨年に引き続きシャリーン・グレイスです。彼女はオーストラリアのブリスベン在住の70歳代のろう者ですが、ウ

ガンダの若いろう者が、ぜひもう一度と切望した人でした。私たちは、シャリーンに感謝します。若いとは言えないのに、ウガンダの不便や衛生状態や不自由などを我慢して、若い人たちにイエスのすばらしさを伝えてくれました。ケニア DMI のディレクター、ジョセファット・ムロンゴも駆けつけました。そして、キャンプでイエスを信じる決心をした23人に洗礼を授けることができました。このキャンプのために支援して下さった方々に心から感謝いたします。ただ、キャンプの費用の一部の6万円ほどが未払いのままです。お祈りに覚えていただければ感謝です。



## コンゴ

私のアフリカ訪問のほとんどに同行してくれたグナール・デリは、初めてコンゴにも同行してくれました。もうひとつのキャンプがブテンボ（ウガンダとの国境から5時間ほどの町）で持たれ、私たちも参加しました。私たちはバスで国境まで行き、そこからタクシーでコンゴに入りました。国境を超えるためには、さまざまなごたごたがありますが、何とかクリアしてブテンボに向かいました。一行の中では私が一番太っていたので助手席に座りました。グナールは背が高いのですが、気の毒なことに後部座席で他の3人と一緒に5時間も縮こまっていなければなりませんでした。

コンゴではヤコブ・ドブヤをコンゴ DMI のディレクターに任命し、スタッフを含めて理事会を結成しました。ウガンダ同様、名前はデフ・アクション・コンゴとしました。



DMI の名前のもとに学校が運営されていますが、私たちは資金援助ができずにいます。

学校が引越してはどうかと言われている建物があります。少し人里離れたところですが、良い建物です。ここには 41 名の児童がいますが、非常に困窮しています。学校の建物の家賃は 4 千円ほどです



ブテンボの学校

についても分かち合わせてください。彼は非常に忠実で親切な主のしもべです。ウガンダの北西部、スーダンとの国境よりの辺境地であり砂漠地帯の教会で牧会をしています。彼は自転車で訪問伝道や牧会をしてきたのですが、少しずつ視力を失って働きも生活も難しくなりつつあります。英国人の医者による手術がムバララで可能だということです。ただ、費用が 7 万円かかります。手術費用を献金してくださる方を探しています。どうぞご検討ください。



Alan

またインドで奉仕している DMI のスタッフのひとりも手術をしなくてはなりません。彼は 5 月に脳腫瘍の手術をしましたが、腫瘍の 25% を取り除くことができなかったので再手術が必要です。手術費は 5 万円ほどです。ご献金くださる方はおられませんか。どうかご検討ください。



Deaf Action Congo board

が、収入がほとんどないので、これは大変な金額です。

国が決めた教師の最低賃金は 1 万 5 千円ですが、私たちは 4 千円しか払うことができていません。ヤコブへの支援献金の 2 万円が収入のすべてです。どうかコンゴの働きを支援してください。

ろう者であり牧師でもあるアランの必要



## 聴力障害の遺伝

この 7 人の兄弟はろう者ですが、両親は健聴者です。配偶者のひとりには 10 人のろう者の兄弟がいます。しかし、両親は健聴者です。世界中で見られることですが、ろうは一世代飛び越えて次の世代に遺伝することもあります。



## お祈りください

- » リーダーになった若い男女を感謝します。毎日、神様は彼らに必要な力と慰めと導きをお与えになりますように。
- » DMI の働きに加わってフィールドに出ていく短期宣教師が与えられたことを感謝しましょう。
- » 新に洗礼を受けた 23 人の兄弟姉妹の信仰が、主にあって守られますように。
- » 迫害の激しいエジプトやシリアにいる DMI スタッフと信徒の上に神のあわれみがあるように。
- » さまざまな理由で社会的に抑圧されている人々、特にアフリカとアジアでそのような立場にいる人たちに、神の愛と力、そして人生の指針が与えられていることを、神に感謝しましょう。

## エジプト

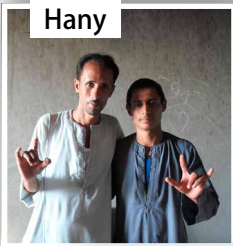
非常に悪いニュースです。DMI のエジプトのろう者の人たちがキリスト教徒を憎む人たちにひどい迫害を受けました。家や職場を失っただけでなく、生命さえ失った人もいます。私たちのふたつの教会がクリスチャンを憎む暴徒に襲われ、教会が壊され放火されました。メンバーたちは日々の食事にも事欠く状況です。DMI 理事のひとり、殺害予告の脅迫電話を受けています。どうぞ祈ってください。

大変困ったことに DMI への先月の献金は全体的にひどい減少でした。各国の奉仕者に約束している金額の 45% しか送ることができなかったのです。エジプトも例外ではありませんでした。このような迫害の中にある教会の人たちを助けるには数十万円の支援が必要です。個人であれ、セルグループであれ、教会であれ、大きな迫害に見舞われたエジプトの兄弟姉妹を助けるために、どうか支援をお願いいたします。





Hany



ろう者が集まっている教会、会場、クリスチャンの店などは燃やされました。仕事や家を失ったろう者の中のほんの少しはこの写真にあります。DMI エジプトのリーダーのハニーさんは深く悲しんでいるろうクリスチャンを慰めています。



## 中国

良いニュースもお届けします。中国にあるダリろう者教会、また DMI 中国は 10 周年を迎えることができました。彼らの場合もデフ・アクションという名前を使っていますが、その理由はアフリカとは別の理由です。中国の場合は、当局に誤解される危険があるということですが、アフリカの場合は、「国際」という名前がつくと、海外から多額の資金援助があるお金持の団体と見られて、必要な助けが受けられないという問題があるのです。どちらともやっかいな問題です。



DMI 韓国から送られ中国で 10 年間奉仕し、各地でろう教会を開拓したチョイ・ミョン・ウイ宣教師に心からの謝辞が述べられました。チョイ宣教師は 9 月に韓国に帰国しました。今後は、デフ・アクション・チャイナのディレクターであるリー牧師（ダリ教会牧師）と中国人による理事会が働きを進めていきます。

神様の祝福、

ネヴィルとリル・ミューア  
エグゼクティブ・ディレクター



Faithful members of the  
Dali Deaf Church  
ダリろう者教会の忠実な  
メンバー



Deaf Action China board members  
デフ・アクション中国の役員会員



Pastor Lee and his family  
リー牧師と家族

# DMI JAPAN Autumn 2013

## - English -

Dear friends and supporters of DMI,

I am sure you enjoyed reading the letter from our Executive Director, Neville Muir, telling of the work of DMI in Africa and China. He mentions lots of special needs which you may feel you can help with. Apart from child and school sponsorship, each month we receive money that is not designated and goes into the General Fund. This is then sent for use wherever it is needed. We were able to send a larger amount this month, and I would like to share with you the email we received from the International Treasurer.

Receiving this email was such an answer to prayer! To say that DMI's finances haven't been looking good lately is a massive understatement. Last month, we only had enough money to send 45% of what we had promised to our workers.

Worrying about how we were going to find enough money to send to our workers this month was keeping me awake last night.

I spent quite a bit of time lying in bed, unable to sleep, praying that God would find a way to provide the finances we need this month. When I rolled over at 1:30am to check the time on my phone, your email was there waiting for me!

This transfer doesn't solve all our problems, and we might still struggle to have enough money at the end of the month, but just seeing the email come through just after I had been praying about finances reassured me that God is in control and He will provide what we need in His time.

Thank you everybody for your faithful support which enables DMI to reach out to the deaf, giving them an education, and a Hope for eternity.

Several people have asked about being able to arrange for money to be debited from their account automatically each month, to save them going to the PO to transfer sponsorship money every month. You will be glad to know that this is now possible! The information is in the

sidebar. I was the first one to go and arrange for my sponsorship money to be transferred automatically every month, so that is one less thing to have to think of each month. If you have any questions about this, please feel free to call me at 090-1028-8844 or 075-871-8562. It was so easy to do.

One more thing before I finish. I just want to remind you that if you would like to send a Christmas card to the child you sponsor, you can send it to me and I will forward it on to your child. In order for the card to arrive before Christmas, please send it to me by the middle of November. Also be sure to write the name of the child and the country name somewhere on the envelope.

Alayne Madore  
20-615 Shimoda Cho, Tokiwa  
Ukyo ku, Kyoto 616-8228

Thank you once again for being part of the work of DMI worldwide.

Alayne Madore  
Chairperson, Japan DMI Board

## DMI International (Australia) September 2013

(See photos in Japanese newsletter)

Dear Friends of DMI,

There is so much to report this time both good news and bad news, which makes writing such a letter most challenging. To be on the positive side I will start with the good news first, for which we can praise and thank God, then slip in all the bad news which really requires our attention. I have just spent almost seven weeks in Africa and China which has been exhausting yet, very encouraging.

### Uganda

We are so happy to announce the appointment of a new Director for Uganda, Mr Samuel Begumisa. Sam is married to Moreen and is the father of three children, Jessica, Jethro and Jordan; Jessica was in school at the time of my visit. Sam is not a newcomer to the scene, he has been around for a long time. I first met him in Kenya when he was just a lad. His Dad was the leader of the Deaf Association in Kenya and his mum, a Ugandan,

was one of our church members. She worked for us for many years as an accountant and was instrumental in getting DMI started in Uganda. Although hearing, Sam is a CODA (Child of Deaf Adults) so has grown up in the deaf world, is fluent in sign language and has been a part of deaf culture and society all his life. One cannot be but impressed by his spiritual depth, understanding of the situation of DMI in Uganda, his tact in dealing with people and the issues involved, and his enthusiasm for the job.

It was a great relief for me when he accepted the position and I was able to hand over to him. I had been Acting Director of Uganda while we were searching for a suitable person. Acting is right! I was an absentee Director with title only as Stephen Kasumba, our treasurer and Information Officer for the child sponsorship program, was really doing all the work. Not only did we appoint a new Director but a new board as well and while we are talking about change I might add that we even changed the name of DMI Uganda to Deaf Action Uganda for various reasons.

The chairman of the board is Robert Ssewaggudde, the youth leader of DMI or now DA Uganda. He is a pretty young Chairman but, you might remember from our



last newsletter, he is one of the great go-getters of our ministry in Africa. Now the bad news: we have a new director but nothing to pay him with. We are in need of a further ¥50,000 a month to cover his salary, travel and government payment obligations. Would you, or your prayer group, be interested in becoming a part of Sam's support team? Please consider this and let us know.

Back to the good news: Under Robert and Tonny's leadership we can report on a wonderful youth camp which was held in Mbale, Uganda. The guest of honour, once again, was Charlene Grace from Brisbane, Australia. She is a 70+ deaf lady who the young Ugandans love and invited back to share in their camp. She was there last year too. We are so grateful for people like Charlene who, regardless of age, are willing to put up with all kinds of discomforts to minister to these great deaf young kids. Josephat Mulongo, the director of DMI Kenya, also attended and had the privilege - together with Charlene - to baptise 23 of those who gave their lives to Christ at the camp. Thank you to all involved.

Bad news: we still owe ¥60,000 for expenses incurred during the camp.

## **Congo**

---

Gunnar Dehli, who was with me for most of the time I was in Africa, was able to travel with me to the Congo for the first time. Another camp was being held in Butembo (about 5 hours from the border of Uganda) which we took part in. We travelled by bus to the border, then by car, which had been rented for our use for the rest of the journey. After all kinds of hassles with visas at the border crossing, we rattled and banged and bumped our way on to Butembo. Being the largest one in our party I got the front seat so was relatively comfortable. Poor Gunnar who is tall, had 5 hours of agony in the back seat with three others.

While in the Congo we were able to officially appoint Jacob Ndovya as director for Congo, and a new board made up of our workers. As in Uganda, we changed the name of the organisation from DMI to Deaf Action Congo.

A school has been operating for some time under DMI's name but, for which we have been unable to supply support.

The school has been offered the opportunity to relocate to a set of new buildings which are very nice, although a bit isolated. Already we have 41 kids but no funds at all to run the place! Rent on the current buildings is only ¥4,000 a month; when you have nothing, that amount is a fortune. Teachers are on ¥4,000 a month allowance, instead of the regulation ¥15,000. At present, everything comes out of the ¥20,000 a month sent for Jacob's support and ministry. HELP!

Neither good news nor bad news, just a need . . . Alan is one of our gracious faithful deaf workers. He is ministering in the dry, far North West of Uganda in a rather isolated section of country towards the Sudan.

Alan pastors a church and does his visitation by bicycle. The problem is he is going blind and is finding it more and more difficult to get about. In Mbarara, an operation is available to help him and would be performed by a British doctor. Cost of the operation is ¥70,000. Is there anyone who can help?

Another one of our workers studying in India is in need of a further operation. In May, he underwent an operation to remove a tumour in his brain, just behind his eye. About 25% of the tumour remained that could not be taken at that time but, is now ready to be removed through more surgery. This will cost another ¥50,000. Can anyone help?

## **Deaf Gene**

---

These 7 Deaf siblings have hearing parents. The spouse of one of these 7, has 10 Deaf siblings, yet their parents are hearing. Deafness jumps a generation - everywhere in the world.

## **Egypt**

---

Now the really bad news: Word has reached us of the plight and needs of our Egyptian deaf believers. Many have lost their homes, jobs and some their lives. Two of our churches where the deaf meet have been burned and destroyed by anti Christian mobs. Many have no food or great difficulty in getting any. One of our board members has received death threats over the phone and so it goes on.

To make the news even worse, our overall DMI income last month took a nose dive. Only 45% of the promised amount was sent to the fields and for the Egyptians this was disastrous. They needed many thousands of dollars to help in their hour of need. Are you, or your Bible study group, able to help with the Egyptian Catastrophe?

## **China**

---

Good news for a change: We have just celebrated the 10th anniversary of the Dali Deaf Church and work of DMI in China. It too is now being called Deaf Action but for different reasons than the Africans. In China it is more politically instigated, whereas in Africa when people see the word International in DMI, they think we are a rich organization and refuse to help because we are 'International'. We can't win!!

A lovely tribute was made to Choi Myong Eui our Korean Missionary who has spent the last 10 years building up the ministry and starting churches in various points in China. He will be returning to Korea in September and a local committee will take up the running of the ministry with Pastor Lee of our Dali church as director of Deaf Action China.

God bless,  
Neville & Lill Muir  
Executive Directors